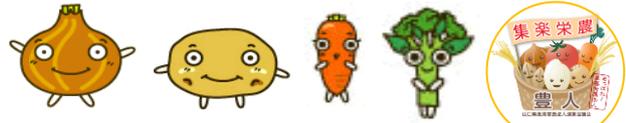


第35号 平成26年5月8日発行
編集局 JA山口中央会



集落営農法人だより

第6回山口県集落営農法人連携協議会通常総会・記念大会 開催

山口県集落営農法人連携協議会は、4月25日、山口市のセントコア山口にて、「第6回通常総会・200法人突破記念大会」を開催しました。159会員（4月25日現在）の内130法人（うち委任状出席64法人）が出席、関係者を合わせ約140名が参集しました。

通常総会では、議事のほか、平成25年度山口県集落営農法人優良経営体表彰を行い、4法人が表彰されました。

記念大会では、実践報告として、（農）久野ファームと、広島県の（農）ファーム・おだより、豊かな地域づくりに係る取り組みについてご報告いただきました。



総勢約140名が参集しました！

<通常総会 次第>

1. 開会
2. 開会挨拶
3. 来賓祝辞
4. 出席法人数報告
5. 議長選出
6. 議事
7. 平成25年度山口県優良経営体表彰
8. 閉会

●開会あいさつ●



山本会長

このたび、県内の集落営農法人数が200を超えたという大きな節目を迎えました。集落営農に携わって参りました一人として改めて思うことは、我々の取り組みが地域活性化の呼び水のひとつとなっているということです。

我々法人の地域に人を呼び込むしくみが、次代の農業の担い手と農業へ理解ある消費者の拡大につながっていると、確信しております。

●来賓祝辞●



野村農林水産部長



山本中央会会長

山口県農林水産部部長の野村雅史様、JA山口中央会会長の山本伸雄様より、温かいご祝辞をいただきました。

●議事●

以下の3つの議案が審議され、承認されました。

【第1号議案】平成25年度活動報告および収支決算について

【第2号議案】平成26年度活動計画および収支予算について

【第3号議案】平成26年度会費について

今年度は、統一的な支援だけでなく、法人間の取り組みに差が生じてきていることを受け、設立後間もない法人に向けた支援と、更なる経営発展に向けた法人支援の2段階の支援を行ってまいります。

設立後間もない法人に向けた支援
経営安定に向けた課題をテーマに県域で課題別研修会（検討会）を行い、課題の共有や意識啓発を行います。

更なる経営発展に向けた法人支援

昨年度強化した地域法人協議会を活動主体に、抱えている課題について優先度、緊急度、重要度等を整理しテーマを設定。地域協議会と連携し、重点的な活動のサポートを行ってまいります。



また、平成25年度に設立された若手法人就業者サークル「百姓練磨の会」へのサポートも随時行ってまいります。「百姓練磨の会」では、4月11日に新たなメンバーを加えての「交流・意見交換会」を開催し、会員同士で課題を出し合い、その解決に向けての意見交換を行いました。

●平成 25 年度山口県集落営農法人優良経営体表彰●

優れた法人経営を行うとともに、協議会活動並びに地域農業の維持・発展に貢献し、他の範になると認められた 4 法人を表彰しました。

【県知事賞】

(農)久野ファーム (下関市菊川町)

【中央会会長賞】

(農)川西 (山口市)

【協議会会長賞】

(農)佐田 (光市)

(農)第 13 営農組合 (美祢市秋芳町)



野村部長より県知事賞を受ける
(農)久野ファーム 浅野代表理事

200 法人突破記念大会

●オープニング●

記念大会は、集落営農法人の歩みを振り返るDVDの映像で開会しました。

“自らの農地は自らで守る”との決意のもと、山口県農業を牽引するリーダーとして歩んできたことを振り返りました。



●開会挨拶●



榎本副会長

この記念大会を機に、農業振興という同じ目標を持った同志として、また切磋琢磨し合う仲間として、法人相互の連携のもとに、この大会がさらなる一步を踏み出す記念日となることをご祈念申し上げます。

●来賓祝辞●

JA山口中央会専務理事の中村滋様から「地域の農業・暮らし両面で多大な役割を果たしておられる集落営農法人ならびに貴連携協議会の活動に敬意を表すとともに、JAグループ山口の総力をあげて、引き続きサポートして参ります」とのご祝辞をいただきました。



中村中央会専務理事

●課題提起●

課題提起として、事務局より、山口県の農業経営体の推移を見ながら、県下法人の特徴的な取り組みや、新たな事業展開に向けたJAグループ山口の支援策について報告しました。



吉武事務局員

●実践報告①●

総会にて優良経営体表彰の県知事賞を受賞された（農）久野ファーム 浅野東雄代表理事より、「みんなで守ろう久野の農地、元気で安心して暮らせる地域をつくろう！」と題して、ご報告をいただきました。

浅野代表は、女性グループなどと連携してつくる、和を大切にした法人経営について話されました。



浅野代表理事

●実践報告②●

東広島市より、（農）ファーム・おだ 吉弘昌昭組合長理事にお越しいただき、「豊かな地域づくりのための農業生産法人の役割」と題して、ご報告をいただきました。

吉弘組合長は、6次産業化を含めた、地域資源を活用した豊かな地域づくりの取り組みについて話されました。



吉弘組合長

●申し合わせ●

大会は「200 法人突破記念大会申し合わせ」を、満場の拍手により確認して終了しました。



申し合わせを読み上げる秋本役員

200 法人突破記念大会 申し合わせ（全文）

本県の農業・農村を取り巻く環境は、担い手の高齢化や後継者不足、農産物価格の低迷などによる生産の停滞、中山間を中心とする集落機能の低下など非常に厳しい状況にある。

こうした中、次代へつなく新たな農業のしくみを築いていくため、われわれは「集落の農地は集落で守る」ことを基本理念に、農地を集積し、効率的な経営を行う先進法人の取り組みに喚起され、本年3月末には205法人の設立をみるに至った。

われわれ法人の取り組みは、それぞれが置かれている環境に違いはあるものの、山口県農業の新しい方向性を示すものであり、そして何よりも地域社会に住む人の知恵や技に基づいた活動であることから、「むら」の誇りと自信を取り戻せるものと確信している。

本大会を契機に、われわれは以下の事項を、活動課題として取り組むことをここに申し合わせる。

記

1. 持続可能な経営体を目指し、経営の複合化・多角化等を含めた新たな経営展開を進めることで、周年労働を確保し、多様な人材の確保・育成を行う。
2. 今後、法人化をめざす組織に対し積極的な支援を行い、集落営農法人の仲間づくりの輪をさらに広げる。
3. 集落営農法人相互の連携のもとに、山口県農業に新たなうねりを引き起こすよう一層努力する。

平成26年4月25日
200法人突破記念大会